

来て 出会えて 聞けて 言えて
よかった!!
貴重な 35 人の
観光産業



第5回オープンミーティング
(2020.2月開催)
進捗報告
vol.2

貴重な声
18人

担当議員：牛山基樹・五味平一・三井新成



皆さんから頂いたひとつひとつの声を産業課へ繋ぎました。富士見町を愛する想いは産業課も同じ。単なる報告だけではなく、お互いに知恵を出し課題を検討しながら、観光の未来を一体感を持って進めていく良い機会になりました。産業課内に於いても町民の声を共有し、未来に導くヒントにすることになりました。

観光情報の発信

地元開催のイベントや大会など、町民向けの情報をタイミングよく、有効的に発信します。町民の皆さんが楽しみ、町外の方々とより良い関係を作れるようになります。

観光、物産の育成

商業観光・農業観光などを推進する中で、お土産、特産品、すずらんや縄文など、地域素材を活かした開発の取り組みを商業環境調査に盛り込み、展開の裾野を広げていきます。

町の考えを質す

大きなテーマ「新しい観光拠点」、「観光基本ビジョン」については一般質問6月、9月にて掘り下げて質問し、実行に向け提案してまいります。
・一般質問6月三井新成「観光産業のあり方について」
(詳しくは、「議員の声(P2-3)」をご参照ください)

公共施設

貴重な声
9人

担当議員：川合弘人・名取久仁春・織田昭雄・五味仙一



町民センターを町民の健康増進、文化活動などの拠点として、充実させる考えはあるか。

有効活用に努める

現在町民の健康増進、文化活動などの拠点として、町民センターとコミュニティープラザの2施設が連携し、それぞれの役割を担っております。町民のスポーツ振興、健康増進については地域スポーツクラブ、町スポーツ協会、各種団体の皆さま、また、文化活動においては、俳句、コーラス、ダンス、文化協会など、各種団体の皆さまのご尽力で幅の広い様々な活動が行われています。限られたスペースではあるが、その中で有効に利用されるようこれからも努めたい。



子育て世代が都会などから移住する場所として、町営住宅や教員住宅の入居条件を緩和して、入居先として活用できないか。

経済面の支援

町営住宅や教員住宅は法律に基づいて補助金を受けて建設しています。入居要件を緩和し用途変更して入居者を募ることは通常ではないこととなります。建物の老朽化も進んでおり今後は、かなりリフォーム工事が必要となってくるため、現状では民間アパートにその役割りを担ってもらい、入居者を経費面で支援していく事の方が賢明だと考えています。

子育て支援

貴重な声
8人

担当議員：名取武一・島正孝・小倉裕子



子育てガイドブック「このゆびと～まれ」の製本と配布先の拡充についての要望があり、教育長・こども課に一般質問で重要性について伝えました。

取り組む

大事なことと受け止め、こども課で取り組むことになりました。



子どもの社会(仕事)体験について
多様な育ちの場が必要。色々な仕事があることを教え、富士見町の企業や、個人事業者に協力してもらい、経験する場を作ってもらいたい。

町に要望

9月定例会一般質問で取り上げ、町に要望します。



子どもの意見を聴く場を！
オープンミーティングへの子ども達の参加等、子ども達に「富士見町を語ってもらう」機会を設けてほしい。「子ども議会」開催の検討も。

前向きに検討

オープンミーティングに子ども達に参加してもらい、「富士見町を語ってもらう」は楽しい提案です。議会で検討し実現に向けて調整します。「子ども議会」は、実現に向け、他市町村の例も参考にしながら検討していきます。

コロナ対応後に、第2回目の検証を課題解決に向け継続していきます。